



写真左は、終始和やかなムードに包まれた「久しぶり元気かい(会)」の会場。同右は、久々の結成で会を盛り上げた「西里ブラザーズ」



久しぶり 元気かい？

OB,OG70人 笑顔で旧交温める

卒業後1年同期会

ちょうど1年前に本学を卒業したOB、OGが旧交を温め、近況を報告する卒業後1年同期会「久しぶり、元気かい(会)」が8日(土)、本学レストラン・ピリアで開催され、卒業生70人と教職員44人が楽しいひと時を過ごしました。

卒業生アンケート結果発表の後、卒業生LINE公式アカウントへの登録が行われました。その後の懇親会では、パーティーメニューや理事長賞などの豪華景品が当たるビンゴゲームを楽しみながら、卒業生と教職員が近況を語り合いました。会の終盤では“帰ってきた西里ブラザーズ”のライブで盛り上がりまし

た。

会場のあちこちでは「元気だったかい？」の声が飛び交い、参加した卒業生たちからは「勤務先では孤独を感じることも多かったのですが、ここに来て同級生と会うことでとてもほっとしました」「東京へ行く予定をキャンセルして参加しましたが、大正解でした。皆さんと再会し、今後の励みになりました！」「先生をはじめ級友に恵まれていたことをしみじみ感じた。また明日から頑張ろうと思えた」などの言葉が寄せられました。

(就職・実習支援課)

看護師、理学療法士のやりがいは… 県立2高校で出前授業

本学の教員が高校に出向いて授業を行う「出前授業」が、12日(水)県立菊池高校と県立大津高校で行われました。

出前授業は、依頼があった高校に本学の教員が出向き授業を行うもので、保健医療分野について生徒の皆さんに理解してもらい、将来の職業や進路選択に役立てもらうのが狙いです。今回は菊池高校で看護学科の甲斐村美智子講師が、大津高校で看護学科の江上史子講師とリハビリテーション学科理学療法専攻の久保下亮准教授が授業を行いました。

大津高校で江上講師は「看護師の仕事と大学での学び」と題して、看護の仕事内容、看護職のやりがいと大変さを自身の経験に基づいて話しました。生徒たちはメモを取りながら興味深そうに聞いていました。また、久保下准教授は、理学療法士になるための学びの詳細や、どんな時に活躍する職業なのかなど、身振りを交えて説明していました。

授業終盤の質疑応答では「男性看護師の割合」について質問があがり、江上講師は「女性看護師に比べて人数は少ないものの、いてくれると助かる存在。特に力を使う仕事の時には頼りになります」と答えていました。(NL編集部)



大津高校で生徒たちに看護師の仕事などについて語る江上講師

すわ火災！

きびきびと防災サポーター

消防総合訓練 救護活動など手順確認

熊本市北消防署による消防総合訓練が9日（日）午前、本学で実施され、本学の防災サポーター、教職員計20人と消防隊員が実際の動きの中で、災害発生時の連携や手順を確認しました。

訓練は、レストランから出火し、数人の負傷者が発生したという想定。逃げ遅れた負傷者をはしご車で救助するなど、本番さながらの緊迫した訓練となりました。防災サポーターの学生たちも、きびきびとした動きでトリアージや救命措置などの応急救護活動にあたりました。

防災サポーターは、消防団員の一種である機能別団員に分類され、大規模災害発生時などでは救護活

動や不明者捜索など、特定分野の働きで大きな戦力となっています。現在、本学では232人の学生が登録しています。全国的に消防団員数は減少傾向にありますが、熊本市は機能別団員の制度を設け、本学を中心とした学生達の登録増加により、消防団全体の数の増加につながっています。学生にとっても、今回のような研修を通じて知識や技術を身に付けることができメリットが多い活動といえます。

訓練の様子は、22日（土）11時からのJ:COMチャンネル「ジモトトピックス」で放映されるほか、地域情報アプリ「ど・ろーかる」でも配信されます。（防災・減災教育支援室）



写真右は、逃げ遅れた要救助者を梯子車で救出後に搬送する消防隊員。同左上は、消防隊員とともにトリアージおよび救命処置等、これまで培った知識や技術を総動員して訓練に取り組む防災サポーターの学生たち。同左下は、訓練後、記念撮影する参加者たち

臨床検査技師の活躍、これからの可能性紹介

本学医学検査学科を中心に臨床検査技師の活躍ぶりやこれからの可能性を描いた特別番組が8日（土）午前、テレビ熊本（TKU）で放映されました。

「ここで学ぶ ここから始まる～学び続ける医療人に熊本保健科学大学」と題した約30分の番組です。

番組では、主に熊本赤十字病院で検査業務に従事する本学卒業生たちの仕事ぶりを追っています。普段立ち入ることができない血管造影室にもカメラが入り、技師たちが機械操作や画像解析を通して医師の心臓カテーテル治療を支える姿を映しました。同病院に勤務する臨床検査技師62人中約4割が本学卒業生ということもあり、撮影にあたっては病院の全面協力を得ることができたということです。

同番組は現在、本学ホームページとYouTubeで視聴することができます。（NL編集部）

テレビ熊本が特別番組



それぞれの学生が自分のペースで学ぶことができる機会を設けている

「ここで学ぶ ここから始まる～学び続ける医療人に 熊本保健科学大学」の一場面（画像提供：テレビ熊本）



資格生かせる仕事探せ！

11病院・企業が業務説明

医検3年 職種紹介イベント

医学検査学科の3年次生を対象とした職種紹介を2月13（木）、14日（金）の2日間行いました。

臨床検査技師の資格を活かすことのできる幅広い職種を知ることが目的として、医学検査学科就職委員と就職・実習支援課スタッフが連携し、毎年実施しています。今回は11の病院・企業の担当者が、業務内容について説明しました。また、本学大学院生が、自身の研究テーマを就職にどのように結び付けたかということについても語ってくれました。

今回の職種紹介イベントは、学生にとって貴重な学びの機会となりました。今後もこうした機会を設け、学生がより具体的なキャリアプランを描けるよう支援していきます。（就職・実習支援課）

爽やかな汗流したら…血圧測定、健康体操

第6回西里校区健康ウォーキングが2日（日）、本学アリーナを発着する2つのコースで開催されました。途中、小雨が降り出す生憎の天気でしたが、地域の人たち約300人が参加し、さわやかな汗を流しました。

西里校区健康ウォーキング

コースは寂心公園で折り返す「がんばるコース」（約6.2㎞）と、セブン-イレブン下硯川店折り返しの「のんびりコース」（約3㎞）。参加者は自分に合ったコースを選び、それぞれのペースでウォーキングを楽しみました。

スタートの前後には、看護学科の岡順子教授、戸渡洋子准教授の指導の下、看護学科学生14人が参加者の血圧を測定。リハビリテーション学科生活療法学専攻の宮田浩紀講師による健康体操の指導もありました。その他、周辺地域にまつわるクイズや、ウォーキング後の賞品抽選会も実施され、幅広い世代の人たちが楽しんでいました。（地域連携委員会）



参加者の血圧を測定する看護学科の学生たち

銀杏アラカルト

令和6年度第2回FD
セミナーの会場



■授業設計の考え方など学ぶ 令和6年度の第2回FDセミナーが4日（火）、1501講義室Mで開かれ、「学生の学習意欲を喚起する授業のあり方」と題して熊本大学大学教育統括管理運営機構の川越明日香准教授が講演しました。川越氏は「教えること」がゴールではないとし、授業を通して到達してほしいと思う目的から逆算して授業を設計すること、その目標に達することができたのかをどのようにして確認するかなど、プロジェクターを使って説明。参加者はうなずいたり、メモを取ったりと熱心に聞き入る様子が見受けられました。（NL編集部）

情報保護委員会主催の令和6年度第2回情報セキュリティ研修会が7日（金）、Zoomオンラインで開催され、情報保護委員の山鹿敏臣講師が情報セキュリティ手順および個人情報保護規程から日常業務における注意事項とその対策について説明しました。

■情報紛失、漏洩への対策を説明
今回は、メールの宛先ミスや添付ミスによる情報漏洩問題を取り上げ、メールソフトに誤送信防止アドインを追加することが提案されました。また、メモ帳やUSBの紛失による情報漏洩には指差し確認の徹底やストラップをつけてユニフォームやバッグに連結させることなどを促しました。さらに機密性の格付けについて説明を行い、最後に情報紛失や情報漏洩が発覚、発見された場合は、速やかに通報窓口連絡するように呼び掛けました。（NL編集部）

週間行事予定（3月18日～3月24日）	
3/18（火）	アミュひろば×熊本保健科学大学「健康と医療職フェア」
3/19（水）	学校法人銀杏学園 理事会・評議員会
3/19（水）	熊本県私立大学協会 教職員対象研修会
3/21（金）	認定看護師教育課程修了式
3/21（金）	国家試験合格発表（臨床検査技師・PT・OT）
3/23（日）	春季オープンキャンパス
3/24（月）	国家試験合格発表（看護師・助産師・保健師）